

2021年8月24日

日本エアーテック株式会社

2021年度12月期 第2四半期決算説明会
電話会議における質疑応答（2021年8月24日開催）

1. 今後の業績見通しに関して

質 問	回 答
<p>第3四半期以降の業績を保守的に出されているが、感染症対策関連の製品販売、福祉施設等における新市場、半導体製造装置市場をそれぞれのくらい織り込んでいるのか教えてほしい。</p>	<p>半導体関連は後半も伸び、昨年と比較して20%増加する見込みです。FPDの分野は減少、その他電子は10%増となり、通期全体における電子分野は昨年度比15~20%増になる見込みです。バイオ分野に関しては、感染症関連製品の引合いから受注・納入に至るまでの期間が非常に短く、本日まで説明した通り、現売り上げ予想には数億円程度しか見込んでおりません。よって今後、感染症関連製品の受注が増加すればその分業績は上振れすることになります。</p>
<p>感染症関連の売上を殆ど見込んでいないとのことだが、この2年大幅に増加しておりもう少し正確に推定出来るのではないか？</p>	<p>感染症関連製品の引合いについては、全国の当社販売代理店より受注する形態が大半です。国や地方自治体の補助金を使用するもの、使用せず調達する場合等があります。前者は、予算が付いた時点で見積もり依頼がありますが、実際に受注となり納品する際は其々の地域により例えば本年9月まで、12月まで、来年3月末まで・・・と各自治体により判断が異なり、そして発注時期が変わります。当然、競合他社もある事から見積もりを提出した全てが受注出来るわけではありません。特に本年の第一四半期の如く、予算使用のタイミングが年度末になると、当社としてはその売上が来年になります。また前者、後者に共通する傾向として、発注が来ると納期は非常に短い傾向があります。6月末時点で、9月以降の感染症関連製品の受注残は殆どありませんでした。本日、8月24日現在は9月以降の受注が入っております。このような状況であることから、保守的に予想せざるを得ないことをご理解頂きたく宜しくお願い申し上げます。</p>

<p>2022年12月期上期は、2020年12月期上期の水準（売上50億、経常5億）に戻ってしまうのか？</p> <p>それとも電子・バイオ分野が引き続き堅調に推移し、2021年12月上旬期水準（売上84億、経常16億）は確保できる見込みで考えておけばいいのか教えてほしい。</p>	<p>現時点の見込みは一言で申し上げると丁度中間かそれより若干上回る程度と予想しています。</p> <p>電子分野は活況であり期待は持てますが、部品・材料の調達リスクがあります。</p> <p>バイオ分野は製薬及び医療分野はコロナ感染症の影響を受け、設備投資は継続すると予想しています。</p> <p>感染症関連の補助金に関しては年度末予算、つまり2022年3月末を期限として予定を組むものも今後出てくることも想定しています。現在市場状況などを見極めながら来年度計画を検討しております。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 感染症関連製品の受注について

質 問	回 答
<p>感染症関連製品の引合いは多いと思うが、原材料の高騰等の原価上昇分を価格へ反映することが出来るのか。</p>	<p>感染症関連製品は昨年より既に価格を提示済みの為、価格改定は行わない予定です。</p> <p>新製品やその他の一部機器については販売価格見直し中であり、今後改定予定です。</p>
<p>感染症関連製品の受注残は積みあがっているのか。</p>	<p>8月中旬過ぎより新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて増加傾向です。引き合いを確実に受注に繋げるように営業活動、生産体制強化に取り組んでいます。</p>

3. フィルター製造新工場の計画について

質 問	回 答
<p>桐生市のフィルター製造専門工場の設備投資額（土地以外）と今後の減価償却費の見通しを教えてください。</p>	<p>工場建設費は約4億6千万円、太陽光発電（4千万）や内部製造設備（4千万）等に約9千万円を見込んでおります。</p> <p>減価償却費は、約1千8百万円/年、程度と見込んでおり、来年から発生します。</p>
<p>HEPA フィルターの売上を毎年10～20%増加させ、2025年には2020年の約2倍以上とする計画とのことですが、売上規模はどの程度見込まれますか？</p>	<p>売上金額は非開示とさせていただいておりますが、従来外販していたのは3,000～4,000枚程度でした。これらを6,000～8,000枚とする計画であることと、当社の製品に組み込んでいるフィルターは昨年数万枚を生産しており、フィルター工場が完成すればそれらの原価低減効果も見込まれます。</p>

4. 受注、市場環境について

質 問	回 答
原材料価格の高騰や、部品入荷の遅延等が話題となっているが、エアテックの状況はどうか。	入荷遅延については対策を行っており、現時点では影響は軽微です。 ただし、想定より状況が悪い為、追加発注・納期交渉を行い対応しております。 原材料価格は確かに高騰しているものも有り、一部売価に反映すべく準備中です。
本社展示室の活用によりどのくらいの成約に繋がっているのか教えてほしい。	展示室は、実際に来場いただくケース、WEBを通じた紹介、さらに製品説明会等で広く活用しておりますので具体的な数字では把握できませんが、代理店やお客様からは以前より製品の長が分かりやすくなったとお言葉をいただいております、当社の営業マンも直接製品に触れやすく勉強にもなっています。
半導体関連が堅調とのことだが、具体的にはどのようなものがあるのか？	説明資料の中に記載した半導体製造装置メーカー向けが代表的です。 これにはその装置に組み込んで顧客に納品される場合と、その製造装置メーカーの工場内のクリーン環境を整備する引き合いもあります。 それ以外に、半導体を製造するための材料、部材メーカーの工場拡張に伴う受注もあります。 また本年前期に売上計上されましたが、パワー半導体工場に直接納品することもあります。

5. その他

質 問	回 答
中期計画（2022年~2026年）の発表は2021年12月期の決算発表時を予定しているのか教えてほしい。	中期計画は、2021年12月期の決算発表時には発表いたしますが、可能であればそれより早く公表したいと考えております。
海外の配当は来年も同様に見込めるのですか？	去年は中国の会社はバイオ分野が伸び増配、台湾は半導体が伸びず減配になりました。 恐らく来年は、中国はほぼ同等、台湾は増配となり、全体では増額となると予想しています。

※ 以上の内容は、電話会議開催日（2021年8月24日）時点の情報に基づく内容です。

以上